

殺虫剤
ジノテフラン液剤

スタークル[®]液剤 10

農林水産省登録 第21259号

(三井化学クロップ & ライフソリューション (株) 登録)

性状：淡黄色澄明水溶性液体

毒性：普通物 (毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称)

危険物：非該当

有効年限：4年

包装：500ml × 20, 10ℓ × 2, 20ℓ

有効成分：ジノテフラン (化管法第1種) …… 10.0%

殺虫剤分類 **4A**

スタークル[®]は三井化学クロップ & ライフソリューション (株) の登録商標です。

特長

- 水稲のカメムシ類・ウンカ類・ツマグロヨコバイに卓効を示します。特にカメムシ類には殺虫効果に加えて吸汁阻害効果に優れているため、斑点米による被害から、より効率的に作物を守ります。
- 散布後は有効成分が速やかに作物内に移行し、効果を発揮します。
- 高い殺虫効果と優れた浸透移行性により、長期間の残効性を示します。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
だいこん	—	アブラムシ類	8～16倍	1.6ℓ	収穫7日前 まで	2回以内	無人航空機 による散布	5回以内 (は種時の播溝土壌混和は 1回以内、は種時の全面土壌 混和は1回以内、粒剤の散布 は1回以内、水溶剤の散布、 液剤の散布及び無人航空機 散布は合計2回以内)
キャベツ	—	アブラムシ類	8～16倍	1.6ℓ	収穫3日前 まで	2回以内	無人航空機 による散布	3回以内 (育苗期の株元散布、 定植時の土壌混和及び 灌注は合計1回以内、 散布及び無人航空機散布は 合計2回以内)
ブロッコリー	—	アブラムシ類	8～16倍	1.6ℓ	収穫3日前 まで	2回以内	無人航空機 による散布	3回以内 (定植時の土壌混和及び 灌注は合計1回以内、 散布及び無人航空機散布は 合計2回以内)
ねぎ	—	アザミウマ類	10～16倍	1.6ℓ	収穫3日前 まで	2回以内	無人航空機 による散布	4回以内 (は種時の土壌混和、育苗 トレイへの灌注及び定植時 の株元散布は合計1回以内、 生育期の株元灌注は1回以 内、散布、無人航空機散布及び 定植後の株元散布は 合計2回以内)
稲	—	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	1000倍	60～ 150ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び 側条施用は合計1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は 合計3回以内)
		ウンカ類 カメムシ類	300倍 8倍	25ℓ 0.8ℓ				
		ウンカ類 ツマグロヨコバイ	16倍	1.6ℓ			無人航空機 による散布	
		ウンカ類	30倍	3ℓ				
		ウンカ類 カメムシ類	8倍 30倍	0.8ℓ 3ℓ			空中散布	
		ウンカ類 カメムシ類	30倍	3ℓ				

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを 含む農薬の 総使用回数
さとうきび	—	カンシャコバネ ナガカメムシ イナゴ類	1000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	5回以内 (粒剤は2回以内、液剤、 水溶剤及び水和剤は 合計3回以内)
			14倍	2.4ℓ			無人航空機 による散布	
だいで えだまめ	—	カメムシ類 フタスジヒメハムシ ダイズサヤタマバエ	1000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内、散布、空中散布、 無人航空機散布は 合計2回以内)
			8倍	0.8ℓ			無人航空機 による散布	
							空中散布	
らっきょう	—	アザミウマ類 ハモグリバエ類	8倍	1.6ℓ	収穫前日 まで	3回以内	無人航空機 による散布	3回以内
いね科牧草	—	アブラムシ類	1000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
水田作物、 畑作物 (休耕田)	ヨシ、オギ、ス スキ、セイタ カアワダチソ ウ等の多年生 雑草が優占し ている休耕田	カメムシ類	1000倍	60～ 150ℓ	—	3回以内	散布	3回以内

使用上の注意事項

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - 散布にあっては、散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検をおこなってください。
 - 散布薬液の飛散によって動植物および自動車やカラートタンの塗装などへ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - 作業終了後は次の事項を守ってください。
 - ・使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
 - ・機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱およびその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 空中散布又は無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製をおこない、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。